

東京都商工会報

vol. 286
2009
3月号

題字は、山下光一 前名誉会長

発行所 **東京都商工会連合会**

〒190-0012 東京都立川市曙町 3-7-10 多摩中小企業振興センター内
TEL 042-525-6821 FAX 042-525-0899 <http://www.shokokai-tokyo.or.jp/>

発行人：桂 教夫
印刷所：(株)文伸



▲多摩地域商工会の会長、会議所の会頭らが「景況と金融動向」で意見交換した「多摩経済サミット」



▲東京都商工会青年部連合会による玉川大学での講義



▲最終報告会が行われた経営指導員への「パワーアップ研修」(上：島しょ地区 下：多摩地区)

CONTENTS

- 厳しい経済環境打開へ「多摩地域の景況と金融動向」で東京都幹部、金融機関トップらと意見交換
「平成20年度多摩経済サミット」を開催
- 「パワーアップ研修」3カ年計画を完了
- 「多摩産材利用拡大のための商品開発事業」と「新島産火山資源の軽量エコ粒子試作・商品化」が「応援ファンド」“第1号”の助成対象事業に決定
- 「たまIT戦略会議」を旗揚げ
- 人事交流
- 多摩地域商工会エリアの景況(20年度第3・四半期)
- 多摩・島しょ地域のイベント 大特集Part25

▶「平成20年度多摩経済サミット」…………… (本文は2面)
2月26日に立川市内のホテルで多摩地域経済界のトップ、東京都の幹部、金融界のトップらが顔を揃えて開いた「平成20年度多摩経済サミット」のテーマは「多摩地域の景況と金融動向」。全部で7人のトップが要望や意見の表明に立ちました。

▶「パワーアップ研修」…………… (本文は4面)
事業主の皆さんが「やってみよう」と心を動かしたかどうか、また、提案を受け入れてもらった結果、売り上げが実際に伸びたかどうか。多摩地域の最終年度の「パワーアップ研修」は、そうした結果を互いに報告、今後の経営指導の参考にしました。

▶青年部員が玉川大学で講義…………… (本文は5面)
100人弱の大学生に青年部連合会の部員が講義一。部員にとっては全くの初体験。自らの業界の解説や事業を通じての体験を講義しました。学生に配った資料もそれぞれが工夫をして臨みました。

厳しい
経済環境打開へ

多摩地域の景況と金融動向で

東京都幹部 金融機関トップらと意見交換

平成二十年度

多摩経済サミットを開催

●金融に対する緩和や改善、中小への支援を強く要望

厳しい経営環境を受けて金融に対する緩和や改善、中小への支援を強く求めました。当連合会、翼下多摩地域二十一商工会、それと多摩地域七商工会議所は二月二十六日、立川市内のホテルにトップが集まって「多摩地域の景況と金融動向」をテーマに「平成二十年度多摩経済サミット」を開きました。現下の厳しい経済環境を東京都、多摩地域の経済界、金融機関とで一緒に考えて何とか突破をし、明るい展望を切り開いていこうという内容で、東京都が「東京都の金融対策」を、また、日本政策金融公庫、東京信用保証協会が多摩地域の景況、保証状況をそれぞれ紹介。トップがこれを受けて東京都の幹部、信用機関トップらと景況、金融をめぐって意見を交わしました。

サミットには当連合会の会長、専務理事、商工会の会長、副会長、会議所の会頭、専務理事、青梅・西武・多摩の各信用金庫理事長、東京都から三枝健二・産業労働局長、東京都から三枝健二・産業労働局長、保坂政彦・産業労働局長、金融部長ら七十四人が顔を揃えました。

伊達和男・むさし府中商工会議所会頭に続いて座長挨拶をした桂教夫・当連合会会長は「混迷を深める政治の社会も経済の社会も本当に出口が見えていない。糸口だけでも見つけたいと願うのは私ひとりだけではない」と今回のサミットへの期待を語りました。

続いて東京都の三枝健二・産業労働局長が来賓挨拶。三枝部長は「中小企業支援団体が一堂に会し、不況の克服と事業の持続的発展を旨に連携を強めることは意

義が深い」と述べ、サミット開催への期待を表明。

「東京都の金融対策」の表題で講演を行った保坂政彦・東京都産業労働局長は「東京都の制度融資は三者協調の体制で中小企業の方々に利用いただいている。三者とは金融機関、保証協会、東京都。都内中小企業の約半数の二十五万社近い方々に利用いただいている」とした上で東京都中小企業の景況から二十一年度の制度融資(案)、中小企業金融支援(同)と最新の制度まで十四項目について紹介をしました。

多摩地域の景況については日本政策金融公庫の西秀貢・立川支店長が、同保証状況については東京信用保証協会の別所教雄・立川支店長が発表をしました。

意見交換の参考にしようとする当連合会は西、別所両氏の発表の後、



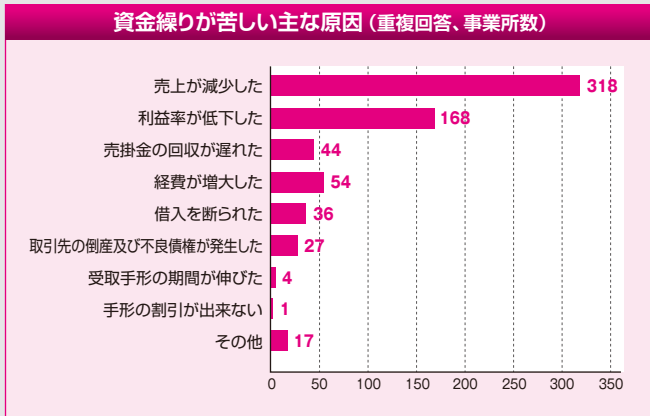
講演をする
保坂 政彦
東京都産業労働局長



来賓挨拶をする
三枝 健二
東京都産業労働局長



共同座長挨拶をする
桂 教夫
当連合会会長



当連合会は「東京都多摩地域及び島嶼地域(中小企業)金融動向調査」の結果をまとめました。これは多摩地域及び島嶼地域の中小企業から任意で抽出した四百八十九事業所を対象に多摩地区七商工会議所、島嶼地域六商工会・多摩地域二十一商工会の経営指導員らが書面調査及びヒアリングを実施してまとめたものです。調査時期は一月三十日から二月十日です。

それによると、回答事業所の五九%が資金繰りに苦しんでいると答えました。これは前回調査(十、十一月)の五八%とほぼ変わらないものの、引き続き高い水準となつており、半数を超える事業所で苦しんでいるという結果になりました。この内容としては仕入れ資金支払が二一%、諸経費支払が二〇%、人件費・外注費の支払が一九%、既存借入金の返済が一六%という順になっています。また、原因としては最も割合が高いのが売り上げの減少で四八%。次いで利益率の低下で三四%。借入条件については六三%が従来と変わらないとしています。貸し渋り等があったと答えたのは一三%でした。

借入が出来なかった場合の対処としては四八%が無駄な経費を削減したと回答しています。

第2回 『資金繰りに苦しんでいる』が59%と半数超え
東京都多摩地域及び島嶼地域(中小企業)金融動向調査を実施

別掲の通り、一月末から二月中旬に多摩及び島しょ地域の四百八十九事業所に当連合会が実施した「(中小企業)金融動向調査」の結果を報告しました。

サミットではこの後、トップらによる意見交換を実施しました。交換ではまず、森田昇・青梅、山崎

正芳・西武、佐藤浩二・多摩の各信用金庫理事長が取引先との問題点、地域の実情、金融機関の対策などをそれぞれが紹介をしました。意見交換では全部で七人のトップが要望や意見の表明に立ち、「皆さん、大変、苦しんでいる」、「全く先行きが見えない」などと厳しい変化

を東京都、保証協会、金融機関などに理解を求めるとともに、経営改善資金貸し付け返済元金据置期間の延長、「緊急保証制度」の手続きの簡略化など金融に対する改善、中小への支援の強化を求め、予定時間を三十分も超えるほどに活発なやり取りを行いました。(全体写真は1面に)



電話で緊急金融相談に答える

この相談は当連合会が発案。七会議所にも呼びかけて実現したものです。相談に当たっては事務局長、経営指導員らが休日を返上して出勤。電話や窓口での質問や要請にこたえて支援をしました。

景気が急速に悪化してきたことを受けて、年末を迎える中小企業・小規模事業者の資金需要に積極的に応えていこう、と当連合会、多摩地区二十一商工会、島しょ地区六商工会、それと多摩地区七商工会議所は御用納めが過ぎ、年末も押し詰まった二十年十二月二十九、三十の両日、事務所を一齐に開いて緊急金融相談を実施しました。

年末の29、30日に緊急金融相談を実施

当連合会
多摩地区21商工会
島しょ地区6商工会

42件の相談

経営指導員の活躍に期待を!!

「パワーアップ研修」3カ年計画を完了

島しょ地域、多摩地域とも 最後の研修を実施

「全国トップの経営指導員にする」という桂教夫会長の構想に基づいて経営指導員の指導スキルを飛躍的に高めることを目標に平成十八、十九、二十年年度と三カ年計画で実施してきた当連合会の「パワーアップ研修」が島しょ地域は一月二十日から三日間、また、多摩地域は二月二、三の二日間の最終報告会で三年度目の研修を終了し、三カ年の計画を完了させました。

指導スキルを高めた経営指導員の今後の活躍に期待を下さい。

会員の皆様から本音で皆様の経営について伺えるようにし、これを基に魅力的と会員の皆様が感じ、そして「やってみよう」と受け止めてもらえる提案をつくれるようにすることがパワーアップ研修で目指した最大の目標です。

ただ、島しょ地域については地域により相応しい研修内容にする狙いから三年度目については島の産物をリストアップ。この中から有望な産物を選んで産業振興五カ年計画をつくるという

内容にしました。

島しょ地域の最後の研修では一日目に研修概要のガイダンスが連合会であり、その終了後に農商工連携や地産地消に取り組み、注目を集めている神奈川県茅ヶ崎市のNPO法人「湘南スタイル」を訪問。一日目の午後、二日目午前とその活動を視察、説明を受けました。そして三日目は一日連合会において、島ごとに視察を参考にそれぞれがつくった産業振興計画を代表が発表、他の参加者がそれを聞き、質問をするなどしました。

また、多摩地域の三年度目については、昨年の提案が経営者に受け入れられたか、受け入れられた提案は売り上げ増進に繋がったかどうか等々をテーマにし、両日ともに八班ずつという形で一班十分の割り当てで班のそれぞれの代表が発表に立ち、他の出席者にその結果を報告しました。

そして、最後に中小企業診断協会東京支部三多摩支会の中小企業診断士の先生が発表結果に対して講評を行いました。

(写真は1面に)

●あきる野商工会支援の
「多摩産材利用拡大のための商品開発事業」

●新島村商工会支援の
「新島産火山資源の軽量エコ粒子試作・商品化」

「応援ファンド」第1号の 助成対象事業に決定 14計画が発表

あきる野商工会が事業を支援してきた有限会社中嶋材木店(あきる野市)の「多摩産材利用拡大のための商品開発事業」と新島村商工会が支援をしてきた新島ネオライト工業株式会社(新島村)の「新島産火山資源の軽量エコ粒子試作・商品化」がそれぞれ「東京都地域中小企業応援ファンド」助成対象事業、第1号に決定しました。

今回、十四事業が助成対象事業、第1号に選ばれ、二つの計画がこの中に入ったものです。

中嶋材木店による多摩産材利用拡大のための商品開発事業は、多摩産材で付加価値の高い商品開発を行うとともに、その利用促進に取り組みます。同事業では新しいビジネスモデルとして林業、製材所、木工加工所、デザイン、設計者等の連携を行い、これにより山と都会とをビジネスで繋げ、さらには、環境への貢献も目指しています。

計画期間は二十年度、二十一年度の二年間です。ファンドから八百万円の助成を得ます。

新島ネオライト工業による新島産火山資源の軽量エコ粒子試作・商品化は、世界で新島ともう一カ所で見られない天然の軽石である抗火石(こうがせき)と火山噴出物を原料に軽量エコ粒子を試作するとともに、その用途開発を行います。エコ粒子は建材や軽量コンクリートの材料として利用することが期待されています。

計画期間は一年。試作と用途開発にはファンドから四百十七万円が助成されます。

応援ファンド事業は東京都と国が造成したファンドの運用益により事業者が取り組もうとする事業に対し最高八百万円を限度に事業化経費の一部を助成するという施策です。助成の対象は地域資源を活用した新ビジネスと都市の課題解決を図る新ビジネスの二つです。担当の商工会では「地域応援ナビゲータ」を派遣。事業立ち上げから販路開拓まで一貫して継続的に支援をしていくことにしています。

華やいだ雰囲気の中
「おめでとう」、「今年もよろしく」
と挨拶

新年

賀詞交歓会

「What's都青連、It's!都青連」
を表題に 講演とパネルディスカッション

都女連

東京都商工会女性部連合会は一月二十日、立川市内のホテルで新春講演会、並びに新年賀詞交歓会を開きました。新春講演会、新年賀詞交歓会には各商工会女性部から百十七人の小規模事業者が参加。会場が華やいだ雰囲気の中、親しい人を見つけては「今年もよろしく」と新年の挨拶を交わしました。

挨拶に立った広瀬可世子会長は「本当に良く集まっていた。この力が女性部の力。私たちは一致団結して街への貢献と活性化に一緒に頑張っていかなければならない」と話し、改めて地域活性化への女性の役割を強調し、会員の結束を訴えました。

新春講演会では大高醬油(千葉県山武市)代表取締役で、全国商工会組織強化推進本部長の大高まもる氏が「『事業承継について』」事業者にとって必要なこと

「」をテーマに、五代目として醬油づくりの事業を継いだ体験をユーモアを交えて話しました。

交歓会には来賓として桂教夫・当連合会会長、長谷川登・当連合会専務理事、小島昌夫・東京都商工会青年部連合会会長らが出席。小島・東京都商工会青年部連合会会長の乾杯の音頭で



挨拶をしているのは広瀬可世子会長

都青連

東京都商工会青年部連合会は一月二十五日、国分寺市内の国分寺シサロン飛鳥などで新年賀詞交歓会を開きました。二十七商工会青年部から同会には七十五人が参加。

交歓会では小島昌夫会長が「青年部活動は一生懸命やれば自分の成長に繋がる。試練こそ人を磨く」とまず主催者挨拶をし、青年部活動に積極的に係わるよう呼びかけました。続いて開いた講演では前会長で顧問の波多野章裕氏が会長の経験や、全国商工会青年部連合会の活動に携わった経験に基づいて都青連の組織や事業、そして「部員にとつての都青連」について熱弁を揮いました。

パネルディスカッションでは浅沼明・島しよ、櫻井健司・西多摩、齋藤英司・北多摩北、中山靖一・北多摩南の各ブロック長と新井勲・北多摩西副ブロック長の五人がパネリストになり、波多野顧問のコーディネーターのもと都青連だからできること、理事だから経験できたことについて意見を交わしました。

二部では桂教夫・当連合会会長、廣瀬可世子・

東京都商工会女性部連合会会長、長谷川登・当連合会専務理事らが来賓として出席。廣瀬会長の音頭で乾杯をし、歓談の輪をいくつもつくって懇親を深めました。



挨拶をしているのは小島昌夫会長

堂にいった講義

内容にも工夫

東京都商工会

青年部連合会による

玉川大学の講義 全五回を終了

緊張感は何えるものの講義はなかなか堂にいったものでした。また、講義内容にも色々工夫がみられました。玉川大学(東京都町田市)での工学部マネジメントサイエンス学科の、東京都商工会青年部連合会による「キャリアデザイン—地域産業の研究—」の講義が順調に進展。一月十五日の講義で二十年十一月下旬から実施してきた、全五回の初の講義を終了しました。

「日本が世界に誇る調味料 醤油」をテーマにした、あきる野商工会青年部の近藤寛氏による一月八日の講義ではおよそ八十人の学生が受講。講義ではあきる野市の紹介を縦系に、狙いの家業の醤油産業の沿革、醤油の歴史等々を横系にして解説をしていきました。講師を務めたのは次の各氏(カッコ内はテーマ)です。

- ▼加藤武司「種類業界(そば店)について」
 - ▼瀧島忠典「材木屋という仕事」
 - ▼伊勢崎唯「八丈島におけるミニスーパー経営」
 - ▼近藤寛「日本が世界に誇る調味料 醤油」
 - ▼鶴田清司「酒販小売経営」
 - ▼千木良貴臣「商工会について」
- (写真は1面に)

「たまた戦略会議」を旗揚げ 八王子市など4市や
三鷹商工会など支援団体とIベンダーなど

多摩地域の自治体、支援団体、Iベンダー、金融機関が地域内の中小企業のI T化促進と多摩地域の活性化を狙いに一月二十一日、立川市内のホテルで「たまたI T戦略会議キックオフシンポジウム」を開催するとともに「たまたI T戦略会議」を旗揚げしました。

会議を設立したのは自治体が八王子市、立川市、三鷹市、青梅市の四市、支援団体が三鷹商工会、それと八王子、立川、青梅の三会議所、I Tベンダーが八王子I Tネットワーク、たちかわI T交流会、三鷹I C T事業者協会、青梅I T事業者組合(仮称)。金融機関が多

摩信用金庫。当連合会はオブザーバーになりました。

会議は三鷹I C T事業者協会などベンダーが協同で仕事をする組織を通じてベンダーの活性化を図っていきます。具体的には協調をし、競争力を高めるコラボレーションを展開。このコラボレーションにより中小企業のI T化のスピードを速めていきます。

シンポジウムにはベンダーを中心に二百人が参加。トークセッション「Rubyビジネス利用の現状と将来」を行うとともに、四つの事業者組織がそれぞれ活動テーマを発表しました。

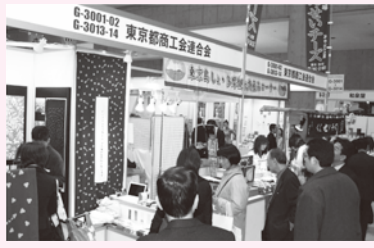


情報交換会で挨拶をする桂教夫・当連合会会長

第二部の情報交換会には桂教夫会長が出席。桂会長は「大変な年の幕開けにこんなに素晴らしいものをつくっていただいた」と挨拶をし、会議への期待を話しました。

みやび(日の出町)など 4事業者が出品
ニッポンいいもの 再発見! 春2009
に同時 出展

当連合会は全国商工会連合会が二月三日から四日間、東京・有明の東京ビッグ・サイトで開いた、「地域資源∞全国展開プロジェクト」で開発した商品や全国展開プロジェクトに係わる各地での観光事業をPRする「ニッポンいいもの再発見! 春2009」に同時出展をしました。同時出展したのはきれ屋(あきる野市、出品商品「きれ屋デザインてぬぐい」)、みやび(西多摩郡日の出町、同「くんせいチーズ」)、杏's Cafe(小平市、同「極 杏仁豆腐」)、小平商工会(小平市、同「武蔵野ベリー果汁/武蔵野ベリーリキュール」)です。



多くの人が足を止めた当連合会ブース

「ニッポンいいもの再発見! 春2009」は延べの入場者がほぼ二十万人となる「マンモス展示会」である「第67回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2009」と同時開催したものです。いいもの再発見!には当連合会とは別に清瀬商工会も出展、にんじんジャムなどにんじんを使用した特産品のPRをしました。入場者には比較的、女性が多く見られ、出展者は試食品や、試飲を用意。ブースの前を通る行人に勧めるなどをしてPRに力を入れました。

北多摩西部6市商工会建設業部会が
「建設業交流プラザ」
デザイン大賞に
「みんなのひろば
ふじよびくすえん」

昭島市商工会、武蔵村山市商工会など北多摩西部六市商工会建設業部会と立川商工会議所建設業部会は二月六日、立川市内のホテルで「第二十一回建設業交流プラザ」を開きました。プラザには清水庄平・立川市長ら来賓を含めて百二十人が出席、「第3回多摩のまちなみ建築デザイン賞」の授賞式を行うとともに、講演会、交流懇談会を開催しました。

デザイン賞の「デザイン大賞」は「みんなのひろばふじよびくすえん」(立川市)、優良賞は「日野市立日野図書館」(一般建築部門)でした。また、各賞、審査委員長特別賞は別掲の通りでした。授賞式では萬田貴久・立川商工会議所会頭が入賞者に表彰状、記念品をそれぞれ贈りました。講演会では松葉一清・武蔵野美術大学教授が「景観と建築から考えるまちづくり」のテーマで講演をしました。同プラザは情報交換と受発注の拡大を狙いとして行います。▽【立川市賞】アルスコート▽【武蔵村山市賞】勅使河原邸▽【国分寺市賞】オーピング庭園▽【国立市賞】国立音楽大学附属小学校▽【日野市賞】日野市多摩平の森ふれあい館▽【東大和市賞】坂庭邸▽【昭島市賞】深田邸▽【審査委員長特別賞】立川屋台村、ハラダイス



120人が出席した「建設業交流プラザ」

新事務局長



島村俊雄 (小笠原村商工会)

(新規採用) 島村俊雄▽小笠原村・事務局長

人事

交流

多摩信用金庫が主催し、当連合会並びに多摩地域二十一商工会が後援を...

第6回

多摩ブルー・グリーン賞

最優秀賞には マノ精工と武蔵野東学園 東京都産業労働局長賞には 三祐産業

別賞) 企業、団体、個人事業主は次の通りです(「」内は事業所所在地)。

員(新規採用) 相原のりこ▽武蔵村山市・記帳専任職員(武蔵村山市・補助員)

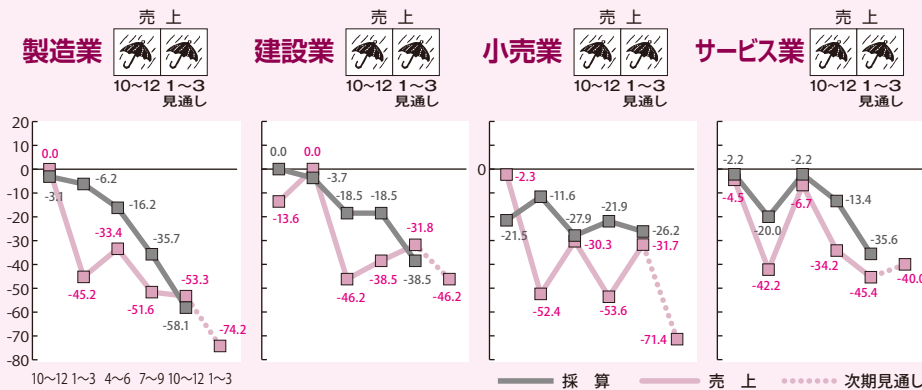
中小企業景況調査 多摩地域商工会エリアの景況

20年度 第3・四半期(10~12月)

全業種で採算悪化、需要減退と資金繰りが深刻に

- 製造業 売上高前期比DIが悪化、次期見通しも苦しい。採算期中DIは4期連続悪化。資金繰り逼迫続く。経営上の問題点の第1位は2期連続「需要の停滞」。

売上高(前期比DI)・採算(期中DI)の推移



調査企業の声

- * 大手が社内に仕事を取り込み、外注にまわって来ない。(電子部品・デバイス・電子回路製造業)

注1. DI値(景気動向指数)のプラスは好転、マイナスは悪化とみる。注2. DIマーク ☀️: +30 ~ ☁️: +10 ~ +30 ☔️: +10 ~ -10 🌧️: -10 ~ -30 🌨️: -30 ~

大特集
feature

>>> 多摩・島しょ地域のイベント EVENT

4月5月

満開ですよ。サクラ、ツツジ、チューリップ...

Part
25

日程	イベント名	会場	内容	主催者・問合せ先
4日(土)	第19回桜まつり	日の出町民グランド	乗馬体験、ミニ植物園、流し踊りなどのイベント	日の出町観光協会(日の出町役場内) 042-597-0511(内線241)
4日(土)~5日(日)	平山季重まつり	平山城址公園駅付近	郷土史展示・ウォーキング等	日野市産業振興課 042-585-1111
4日(土)~5日(日)	第32回くにたち さくらフェスティバル	谷保第3公園	模擬店、舞台での各種催し物、フリーマーケット	さくらフェスティバル実行委員会 (国立市産業振興課工保) 042-576-2111
5日(日)	第19回サンセットパーム ライン駅伝競走大会	元町 仲の原園地	年代別駅伝30km(区間距離=5、5、3、10、7km) 親子学年別ハンディレース2km	サンセットパームライン駅伝事務局 03-3964-8774 担当 出浦
5日(日)	第31回さくらまつり	六道山公園	狭山丘陵ウォーキング、野点、お囃子、子供の集い、大道芸ほか	瑞穂町観光協会 042-557-3389
8日(水)~5月上旬予定	塩船観音つつじまつり	塩船観音寺境内および 霞丘陵自然公園	数々の文化財で有名な花の寺で15種類1万7千本のツツジが咲き誇ります。	塩船観音寺 0428-22-6677
10日(金)~23日(木)	はむら花と水のまつり 2009(後期) チューリップまつり	根掘み前水田(羽村市羽 中4丁目・羽加美4丁目付 近の水田)、踊子草公園	30万本ものチューリップが咲き乱れる会場内に 模擬店を出店するほか、展望台を設置します。 また、今年もチューリップオーナー制度(1口500 円)のお申し込みを受け付けます。	羽村市観光協会 042-555-9667
12日(日)	第2回 春の住宅フェア	東村山市役所駐車場	市内の優良建設業者の出店・一流メーカーの設 備機器等多数展示・東村山音頭バラバラ・よさこ い・和太鼓などの来場者へのプレゼントあり。	東村山市商工会建設業部会 042-394-0511
18日(土)~19日(日)	花と緑のまちづくりフェア 2009	JR八王子駅北口西放射 線ユーロード	中心市街地の活性化に寄与することを目的に花 と緑に関するイベントを実施する。	八王子ファッション都市協議会 042-623-6311
2日(土)~3日(日・祝)	青梅大祭	JR青梅駅前旧青梅街道	12台の山車の巡行と祭囃子の競演。青梅ならで はの威勢のいいケンカ囃子で、お祭を盛り上げま す。	青梅大祭実行委員会 0428-22-1131
3日(日・祝)~4日(月・祝)= 予定	観光朝市	黒根港周辺	取れたての新鮮な海の幸、野菜などの販売	村おこし実行委員会 (新島村商工会内) 04992-5-1167
3日(日・祝)~6日(水・振休)	くらやみ祭 武蔵国国府祭 大國魂神社例大祭	大國魂神社、けやき並 木、旧甲州街道	祭のメーンは5日。国内最大級の6張りの大太鼓 が打ち鳴らされ、神輿渡御が行われる。8基の 神輿は大太鼓と提灯の灯りに導かれ、渡御され る。3日競馬式 4日万灯大会・子供神輿 山車 の巡行 5日太鼓送り込み、神輿渡御 6日神輿 還御	府中観光協会 042-302-2008 http://www.kankou-fuchu.com
5日(火・祝)=予定	羽伏フリーマーケット	羽伏メインゲート周辺	趣向をこらしたショップが多数出店。軽食コー ナー、ステージも楽しめます。	フリマ実行委員会 04992-5-2031
9日(土)~10日(日)	ひの新選組まつり	高幡不動尊付近	新選組パレード等	日野市産業振興課 042-585-1111
16日(土)	第18回 新島トライアスロン大会	新島地内	スイム・バイク・ランの鉄人レース	新島村役場 04992-5-0240
17日(日)	国分寺朝市	武蔵国分寺公園	農業生産物の販売、フリーマーケット、商店による 販売、抽選会	こくぶんじ朝市実行委員会 042-323-1011

中小企業経営者のみなさまへ
新現役チャレンジ支援事業のご案内

経営者の皆様、企業等のOB人材を
あなたの会社の経営アドバイザーとして活用してみませんか!!

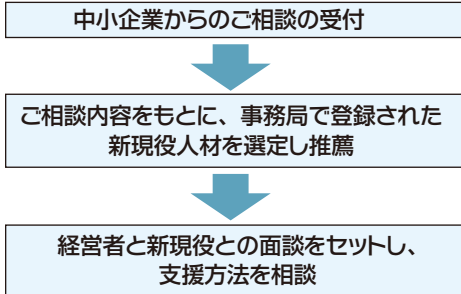
新現役チャレンジ支援事業とは

新現役チャレンジ支援事業とは、企業などを退職された方や近く退職を予定されている方で、

- 1) 豊富な実務経験、2) 専門知識、3) これまで築いてきた人的ネットワーク

を活かして「中小企業等の支援を通じて、社会に貢献してみたいと思う方々(新現役人材)」と「支援を必要とする中小企業等」をマッチングさせる国(中小企業庁)の委託事業です。

事業の仕組み



新現役人材専門分野

- 経営企画・戦略立案 ● 海外展開・国際化
- 情報化・IT活用 ● 販売・マーケティング
- 技術・製品開発 ● 生産管理 ● 物流管理
- 経理・財務管理 ● 人事・労務管理
- 法律・特許 ● その他

■ 問い合わせ先

新現役チャレンジ支援東京事務局
〒100-0005
千代田区丸の内3-2-2東商ビル1F
電話03(3283)7478
URL http://www.shin-geneki-tokyo.jp